

## I 平成26年度当初予算案編成の概要

### 1 本県の財政状況について

現在の我が国の景気は、企業収益が改善し、個人消費も増加するなど緩やかに回復している。一方、先行きについては、輸出が持ち直しに向かうとともに家庭所得や投資が増加するなど、景気の回復基調が続くことが期待されるが、海外景気の下振れが引き続き我が国の景気を下押しするリスクとなっていることに加え、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要及びその反動が見込まれることから、今後の動向を注視していく必要がある。

ようやく明るい兆しが見えてきた経済情勢のもとで、県税収入は平成20年度以来6年ぶりに1兆円を超えるものの、税収増に伴う国からの地方財政措置の縮減が見込まれ、また、公債費や医療・介護などの扶助費といった義務的経費が確実に増加しており、依然として厳しい財政運営を強いられている。

### 2 予算編成の基本的な考え方

平成26年度の予算編成にあたっては、平成25年度の減債基金の取崩額の一部を取り止め、平成26年度に再度活用するなど、2か年にわたる財源調整により最大限の財源確保を行った上で、なお残る収支不足を解消するため、臨時的・緊急避難的措置として基金からの繰入運用を行わざるを得なかった。

このように厳しい財政状況下での予算編成ではあるものの、2030年を展望し、2020年を目標とする「あいちビジョン2020」の策定を踏まえ、日本一元気な愛知と豊かさを実感できる県民生活の実現に向けて、「リニアを生かし世界の中で存在感を発揮する中京大都市圏づくり」、「日本の成長をリードする産業の革新・創造拠点づくり」、「安心安全で誰もが夢と希望を抱き活躍する社会づくり」に全力で取り組んでいかなければならないため、以下の「7つの柱」の施策を重点に予算編成を行った。

- (1) 元気な経済・産業・地域づくり
- (2) 安全で災害に強い地域づくり
- (3) 環境首都あいちづくり
- (4) 安心できる健康・医療・福祉社会づくり
- (5) 教育・文化立県あいちづくり
- (6) 地域の潜在力を引き出す社会基盤づくり
- (7) 自立・分権・協働の行財政体制づくり

## II 教育委員会所管予算案の概要

### 1 教育委員会所管予算の主要事項

#### (1) 重点要求事業

- ① 学校教育の充実
- ② 生涯学習の振興
- ③ 文化芸術の振興
- ④ スポーツの振興

#### (2) 主な新規・増額事業

- ・ 知多地区新設特別支援学校基本設計費
- ・ 道徳教育推進事業費
- ・ 公立高等学校等奨学給付金支給費
- ・ 公立高等学校就学支援事業費
- ・ 耐震改修費
- ・ 愛知総合工科高等学校建設費
- ・ 県立学校情報化推進事業費
- ・ 市立特別支援学校施設整備費補助金

## 2 平成26年度教育委員会所管当初予算総括表

### (1) 予算見込額

(単位：千円)

区 分	平成26年度予算額	平成25年度予算額	差引増減(△)額	前年度比
教 育 費	495,580,768	487,194,895	8,385,873	101.7%
内				
人件費	465,169,875	462,307,214	2,862,661	100.6%
訳				
その他経費	30,410,893	24,887,681	5,523,212	122.2%
県一般会計歳出総額	2,361,863,000	2,228,433,000	133,430,000	106.0%

### (2) 項別予算見込額

(単位：千円)

区 分	平成26年度予算額	平成25年度予算額	差引増減(△)額	前年度比
1 教育総務費	85,697,797	81,164,272	4,533,525	105.6%
2 小学校費	179,647,056	180,502,078	△ 855,022	99.5%
3 中学校費	100,173,822	98,236,938	1,936,884	102.0%
4 高等学校費	95,537,823	92,345,300	3,192,523	103.5%
5 特別支援学校費	30,783,308	31,498,781	△ 715,473	97.7%
6 生涯学習費	2,119,667	1,913,631	206,036	110.8%
7 保健体育費	1,621,295	1,533,895	87,400	105.7%
合 計	495,580,768	487,194,895	8,385,873	101.7%

### (3) 主要事業の概要

別紙資料のとおり